

妊娠出産子育てシェアサポート事業【富士宮市】

個別事業費	3,000 千円
交付金額	1,350 千円

地域の実情と課題

当市は富士山の湧き水を活用した企業が多く、また北部の広大な朝霧高原においては酪農及びキャンプ等といったアウトドア系の産業が発達しているのが特色である。市内で働く労働者を増加させるためには、子育て中の女性の社会参画が必要不可欠である。令和2年度国勢調査における年齢階級別労働力率についても、30～34歳の女性の数値が国が79.6%であるのに対し、当市は78.0%となっており、国の平均に達していないのが現状である。また、以前の3世代同居から核家族化への家族形態の変容、家族の転勤等に伴う転入によりワンオペ育児が増加し、子育て中の母親の孤独が高まり、悩みや不安から社会復帰を考えるゆとりがない状況にある。これに対し、当市では総合計画で「女性が輝く、さくや姫プロジェクト」と題し、女性が持つ力を最大限発揮できる環境を作り、女性の社会復帰を後押しするような事業を行ってきた。

事業の特徴

子育て中の母親がスキルアップ及び自分の社会参加について相談する場を提供すると共に、自身が講師となり講座を開く機会を提供することで、社会参加の一助とする。

事業の効果

相談が人気である。内容としては、育児や家庭についてだけでなく、子育てをしながら働ける職場、復職や就職等女性の社会参加に関わる内容も見られた。また、母親主催で行う講座の開催支援については、4名の子育て中の母親が講師に挑戦し、それぞれがこれから先の活動への意欲を持ったことから、社会との関わりや女性の社会進出について一定の成果は見られたと考える。

目的・目標

母親たちの社会復帰や妊娠・出産・子育ての各ステージで生じる悩み・不安を解消するため、やりがいや喜びを当事者同士で分かち合い、支え合う機会を提供すること。
 地域全体を巻き込んだ温かな支援のネットワークを形成することで、当事業に係る女性を社会とつなぎ、女性の社会参加や活躍を促進すること。
 19件以上の講座等実施を目標に設定し、20件の講座を実施した。
 本事業への総参加者数を300人以上集めることを目標とし、330人が参加した。

連携団体

- ・NPO法人母力向上委員会
市内NPO法人。事業委託先
- ・女性応援会議
市が事務局を務める女性活躍について幅広い意見を募るための会議

今後の課題

母親が誰かと関わることのできる居場所や、子どもを連れて来ても安心して参加できる催しに対する需要が高いことを把握できた。このため、社会との関係が希薄になりがちな母親たちの孤独を解消しながら、社会への参加を後押しできるものが必要であると考えます。

事業の概要

【妊娠出産子育てシェアサポート事業】

- ・母親たちの社会復帰、妊娠・出産・子育ての各ステージで生じる悩みや不安、やりがいや喜びを当事者同士で分かち合い、支え合う機会の提供。
- ・社会全体を巻き込んだ温かな支援のネットワークを形成すること及び、当事業に係る女性を社会とつなぎ、女性の社会参加や活躍を促進することを目的として、講座及びイベントを行う。

【親子の居場所づくりの様子】



【母親たちのスキルアップ講座の様子】



【年間ガイド】



【支援ネットワーク団体一覧ガイドブック】

